



Career Support

キャリア サポート

学生一人ひとりの長所や目標に合わせた
密で丁寧なキャリア支援体制

キャリア支援

キャリアセンターと学部学科のダブルサポートで 学生一人ひとりの個性や目標に応じた個別就職支援を実施

学生の就職活動をサポートしているのが、キャリアセンターです。入学前からキャリア意識を養い、4年間を通して万全の支援体制を整備。学生一人ひとりの個性や目標に応じた就職が実現できるよう専任のスタッフが丁寧に個別指導を実施しています。また学部学科の教員も日常的に個別アドバイスをを行い、全学一丸となって就職支援に取り組んでいます。



キャリアセンター

	入学前	1 年次	2 年次	
松本大学	総合経営学部	前期 ●地域社会と大学教育 後期 ●キャリア入門 ●社会活動	後期 ●キャリア形成I(基礎) ●社会活動	
	人間健康学部	前期 ●地域社会と大学教育	後期 ●キャリアデザインI	
	学部共通支援	1月 ●入学前集合セミナー 2月 ●キャリア・カウンセリング 3月 ●履修オリエンテーション	6月 ●キャリア支援ガイダンス (大学生生活の目標を明確にする) 1月 ●キャリア支援ガイダンス (大学生生活1年間の振り返り) 9月 ●企業講演会 ●自己理解 1月 ●職業理解 ●筆記試験対策 12月 ●キャリア・カウンセリング ●インターンシップ	
松商短期大学部	1月 ●入学前集合セミナー 2月 ●キャリア・カウンセリング 3月 ●ウェルカムフェア	前期 ●基礎ゼミナール ●キャリア・クリエイトI ●企業研究講座 ●一般教養・SPI対策講座 後期 ●キャリア・クリエイトII 自己分析講座、ビジネスとマナー講座、 2年生による車座集会、OG・OB体験報告会、 メイクアップ講座 ●インターンシップ ●保護者説明会 ●キャリア・カウンセリング ●学内合同企業説明会	前期 ●キャリア・クリエイトIII 集団面接講座、エントリーシート添削 グループディスカッション講座、 企業講演会、実践マナー講座、 企業情報・企業研究講座 ●公務員対策 ●編入学対策 ●キャリア・カウンセリング ●学内合同企業説明会 後期 ●キャリア・クリエイトIV 入社事前研修講座、 進路決定サポート講座 ●学内合同企業説明会	編入学 就職

※上記は2012年度実施内容

学部独自の就職サポート

各学部ごとに通常の授業やゼミナールを通して卒業後の自分のキャリアを主体的に考えられるよう導いています。また社会でのマナー、プレゼン技法、コミュニケーション能力などの育成にも力を入れています。

キャリア支援ガイダンス

大学生生活を充実させるため1年次から行われる継続的な進路指導。3年次から始まる就職活動に向けて、大学の学びと仕事のつながりを考えるとともに、「なりたい自分」を実現するための行動計画を立てていきます。

学内単独企業説明会

企業の人事担当者が、企業概要や求人内容、社風、採用スケジュールなどを説明します。直接話を聞くことで学生の就職意欲が向上し、多くの学生が内定に至っています。平成24年度は66回開催しました。



夏季就職合宿

学部3年生を対象に夏季休暇中に実施。内容は「企業訪問」「面接体験講座」「先輩の就職活動体験報告」など。「面接体験講座」では、企業の人事担当者から直接面接指導を受ける機会を設定。就職戦線へ立ち向かう自信を養います。



キャリア・カウンセリング

専門のキャリア・カウンセラーが学生一人ひとりに対して、将来設計や現状に応じた緻密で丁寧な面談を繰り返して行います。それぞれに的確なアドバイスを行うことで、働くことへの意識を高めます。

保護者説明会

本学では、家庭・大学・地域企業が連携して学生の就職を支援する体制づくりを進めています。その一環として「親子で進路を選ぶ」ことへの理解を深めるため、保護者向け説明会を開催しています。



卒業生からの就活メッセージ

学生と教職員の距離が近いので 的確な個別指導が受けられます

石原 一樹さん 株式会社サイサン 2013年3月 総合経営学科卒業

1年次の「キャリア入門」で先輩の話を聞いた頃から就職への意識が高まり、就職関連講座はすべて受講しました。特に印象的だったのは、3年次の「夏季就職合宿」で企業の人事担当者から面接指導を受けたことです。キャリアセンターの方々は、学生の顔と名前を覚えていて個々人に合った的確なアドバイスをくださいました。またキャリアカウンセリングの先生は親身になって相談に乗ってくださったので、とても心強かったです。就活では、視野を広く持ち、多様な業種に目を向けて活動した結果、関東全域に展開しているガス会社に決まりました。周りの方の手厚い支援のおかげで、就活を自分らしく乗り切ることができました。

3年次		4年次
前期	●キャリア形成Ⅱ(実践) ●社会教養Ⅰ(基礎)	前期 ●キャリアカウンセリング応用
後期	●社会教養Ⅱ(発展) ●社会活動	後期 ●ワークインフォメーション ●社会人になるために ●社会活動
前期	●キャリアデザインⅡ	前期 ●キャリアカウンセリング応用
後期	●就職支援ガイダンス ●マナーと接遇	
4月	●アセスメントテスト受検	7月 ●学内合同企業説明会
5月	●業界職種研究(OB・OG座談会) ●自己分析(社会で通用する強みを考える)	10月 ●キャリア・カウンセリング(進路未決定者対象)
6月	●SPI模試 ●志望動機作成指導 ●保護者説明会	通年 ●求人情報説明会 ●学内企業説明会
7月	●履歴書作成指導 ●4年生就職活動報告会	
9月	●夏季就職合宿(企業の人事担当者から面接を受ける)	
10月	●SPI模試 ●エントリーシート作成指導	
11月	●面接講座 ●グループディスカッション対策 ●ビジネスマナー① ●キャリア・カウンセリング	
12月	●学内合同企業説明会 ●ビジネスマナー② ●面接特訓	
1月	●エントリーシート添削の振り返り ●4年生への質問座談会	
2月	●冬季就職合宿 ●学内合同企業説明会	



キャリアセンターでは資格を持つスタッフがきめ細かに対応

添削や個人面接は随時行っています。

学内合同企業説明会

大学内の体育館で年3回(12月、2月、7月)開催。学生はリクルートスーツに身を包み、希望の会社のブースを訪れ、企業担当者と面談します。平成24年12月の説明会には長野県の優良企業を中心に47社が参加しました。



インターンシップ

在学中に実社会で行う就業体験がインターンシップです。実際の現場で働く機会を通して、自分の適性や希望の進路への理解を深めます。企業や自治体、NPO団体など、幅広い派遣先の協力体制が整っています。



主なインターンシップ派遣企業

大学
アクサ生命保険、井上、鶴林、富士ゼロックス長野、伊那食品工業、キッセイ薬品工業、三洋精密、シナノケンシ、大日本法令印刷、長野日本無線、アド・コマーシャル、アルピコ自動車学校、キッセイコムテック、城西病院、東洋観光事業ホテル翔峰、東洋観光事業ホテルエナピスタ、長野エプソンシステム販売、日本旅行、松本商工会議所、安曇野市役所、長野県畜産試験場、北杜市役所、松川村役場、松本市役所、塩尻市役所、ルネサンス、ビックルスコーポレーション長野、ツルヤ、諏訪赤十字病院、総合印刷、諏訪湖畔病院、マイナビ、ホテル紅や、長野整形外科クリニック、ウェルライフ信州、ボテテリカ など

短大

アクサ生命保険、日本生命保険松本支社、セキスイハイム信越、オリンパス伊那事業場、山洋電気、大日本法令印刷、大和ハウス工業、日本発条伊那工場、JTB中部、富士ゼロックス長野、松本商工会議所、松本中央図書館、キッセイコムテック、東洋観光事業ホテルエナピスタ、プリンスホテル、ホテル国際21、テレビ松本ケーブルビジョン、マリエール伊那、上伊那農業協同組合、北信州みゆき農業協同組合、信州諏訪農業協同組合、みなみ信州農業協同組合、相澤病院、上伊那市協病院、松本市立病院、富士見高原病院、穂高病院、松本協立病院、丸の内病院、長野市役所、諏訪市役所、上田市役所、岡谷市役所、松川村役場 など

入学前教育

入学前からはじまる独自のオリジナルサポート



在学生による入学予定者への「体験報告会」

学びへのモチベーションが喚起され、就職率アップにも

全入学者を対象に3部構成で行われる松本大学のオリジナルサポートです。

学生生活を充実したものにするため、入学前の期間を有効に活用し、大学での学びと就職を見据えた教育を実施しています。

学習意欲の向上を図り、自己肯定感を喚起する人生設計の第一歩と位置づけています。

集合セミナー

仲間意識を育み、入学前の心構えを

はじめに行われる「集合セミナー」では、在校生が大学生活を紹介したり、アドバイスをする“体験報告会”と、新入生が数人に分かれて行う“グループワーク”があります。これから大学生活をともに過ごす仲間と交流を図ることで、早い時期から友人関係の輪が広がり、悩みや不安を友だち同士で補い合う効果が生まれています。また体験報告やグループワークの進行役を務める在学生の姿に影響され、次年度以降、後輩の支援に積極的に関わるようになる学生が増えています。

プレ・オリエンテーション

大学生活へのステップアップを準備

入学前教育の最後になるのが、「プレ・オリエンテーション」(松商短大は「ウェルカムフェア」)です。在学生がカリキュラムや時間割の作成について指導。松本大学での学びについて理解を促し、大学生活を具体的に計画していくステップへと進めていきます。

キャリア・カウンセリング

早い時期から仕事観を意識します

専門のカウンセラーにより個別に実施される「キャリア・カウンセリング」は、所要時間は約40分。「高校までにどんな経験をしてきたか」「それを大学や社会でどう活かせるか」など、自分の言葉で語ることにより自己肯定に導き、学習意欲や問題意識を喚起して、自分の将来の目標を明確にさせます。キャリア・カウンセリングは、入学後も定期的に行われ就職決定まで続きます。

入学前教育の効果

充実した大学生活を通して就職率アップへ

入学前から新入生同士の交流を深め、先輩や教職員と関わることで、自分の将来を意識しやすい仕組みを構築しています。入学前教育を導入したのは2005年(松商短大は2003年頃)からですが、それ以前に比べて入学者の満足度が上がるとともに、学習意欲が高まり、学びへのモチベーションが喚起されています。また入学前から将来を見据えることで就職への意識も高まり、それが就職率アップにもつながっています。



キャリア・カウンセリング



松商短大「ウェルカムフェア」

オープンキャンパス

入学者の約60%が参加するオープンキャンパス。受験段階から大学についてよく理解し、不安を解消することで、スムーズに大学生活に入ることができます。

集合セミナーで友人ができ大学生活を楽しくスタートできました

倉田 美咲さん 健康栄養学科4年

集合セミナーのグループワークでは、同じ学科の学生が8人ほどに分かれ、席替えしながら1対1で話をします。私は当時、友だちができるか心配でしたが、そのとき話した同級生と意気投合し、今ではかけがえのない友人になっています。また先輩から試験のことや空き時間の過ごし方を聞き、大学生活がイメージできました。2年次からは私がナビゲーターになって高校生に話をしたり、グループワークの補佐役を務めたり。おかげで、わかりやすい話し方やコミュニケーション力が少しずつ身についたように感じます。私たち先輩が優しくフォローしますので、不安のある方はぜひ入学前教育を活用してください。



基礎教育の充実

実践や応用を学ぶために必要なのは、基礎的な学力。
松本大学では基礎教育にも力を入れており、
学生一人ひとりに合わせて、きめ細かなサポートを実施しています。

基礎教育センター

学生一人ひとりの多様な目的に応じて、基礎的な学力をバックアップ。

日々の授業や演習で求められる基礎学力の向上、就職試験に向けた実力養成など、
学生一人ひとりが目標に応じた学習方法を選び、学べる施設です。

教員が常駐しているので、授業と授業の合間や授業終了後など、自分の予定に合わせて利用できます。
学習会、グループ学習、個別指導、自習など活用法もさまざま、気軽に立ち寄れるオープンスペースです。



朝の学習会

朝の30分を有効活用。予約不要で誰でも参加可。

朝9時から30分間行われる「朝の学習会」。予約は不要で全学生が参加できます。1時限の開始は9時40分。「早く大学へ着いてしまったから」「脳を早く目覚めさせて授業に集中したいから」「電車の都合で余裕があるから」「この科目を強化して勉強したいから」など、参加する学生の意識や目的も多様です。科目は「SPI数学」「基礎数学」「社会」「言語分野」などを日替わりで実施。「社会」は日本史、世界史、地理。「言語分野」は漢字と英語が主となります。どんな授業を受けられるかも楽しみのひとつ。「知らず知らずに知識が身につく」とリピーターが増えています。

10分間学習

10分の積み重ねが確実な知識に。学生の興味も高まっています。

一般常識・基礎学力を問う問題を中心にした「10分間学習」を実施しています。10分で解くことを前提に出題されるプリントは、基礎教育センターの手づくり。問題が毎回異なるので、バックナンバー化され、学年に関わらず幅広く学生が活用しています。いつでも始められ、さかのぼって学べるので、「解きやすい」「続けやすい」と好評です。10分で解ける手軽さから、ゼミナールの時間を使って取り組むケースも増えています。特に1年生は4月からほぼ毎週実施しており、高校時代までに身につけた知識が確実なものになるよう工夫しています。

基礎学習講座

数学、漢字、英語などの基礎をしっかり学びます

基礎的な科目を学びなおす機会として好評なのが、基礎学習講座です。「数学の初歩」「数学学習講座」「英語学習講座」「国語学習講座」「漢字検定受験講座」などを開講しており、担当教員が熱心にわかりやすく指導します。朝の学習講座同様に参加は予約なしで自由。45分、60分、90分などの講座があり、テキストやプリントは基礎教育センターで用意しています。わかっていたつもりでも、きちんと理解していなかった、そんな気づきを促しながら、基礎学力の向上を目指します。

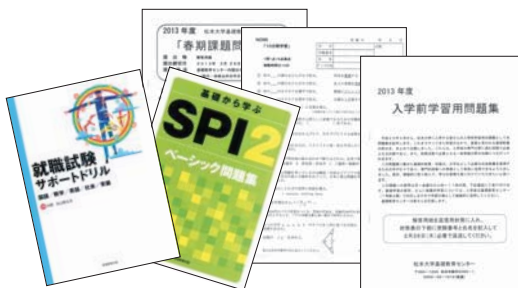
就職試験対策

一般教養やSPI対策などキャリアセンターとも連携

学生一人ひとりの習熟度に合わせた対応ができるのも、基礎教育センターならではの環境です。キャリアセンターと同じフロアに位置していますので、センター同士が協力し、就職活動に備える学生を学習面でバックアップしています。たとえば「一般教養対策講座」や「SPI試験対策講座」など、各自の目標や時期に合わせた講座を開くなど、就職に向けてサポート対策も万全です。



基礎教育センター学習風景



「夏期課題問題集」、新入生対象の「入学前学習問題集」、在学生対象の「春期課題問題集」など、継続した学びを手づくり教材でサポートします。また、各種ドリルや問題集を10分間テストの出題のベースにしています。

基礎教育センターの利用案内

「いつでも 誰でも 気軽に立ち寄り 共に学び 教え合う」フリースペースを目標にしています。

利 用 日：平日（月曜日～金曜日）
利用時間：9:00～17:00
（土曜日、日曜日、国民の祝祭日、その他休校日はお休み）

教員免許・資格取得

各学部・学科の特性を活かした教員免許と各種資格

松本大学では万全のバックアップ体制で

学生一人ひとりの資格取得をサポートしています。

教職センター

地域社会の方々との協働能力をも備えた心豊かな教員の養成を目指しています。

本学で取得を目指す教員免許状は、高等学校一種免許「地理歴史」「公民」「情報」「商業」「福祉」「保健体育」「保健」と「栄養教諭」「養護教諭」「司書教諭」、中学校教諭一種免許「社会」「保健体育」「保健」、高等学校専修免許「保健体育」、中学校教諭専修免許「保健体育」、栄養教諭専修免許です。また、明星大学通信教育部との教育業務提携により、中学校教諭免許状取得見込の場合、2年次からの3年間で小学校教諭免許状を取得する事ができます。各学科により専門となる教科目は異なりますが、共通しているのは、地域社会と

密接に協力連携し、地域社会の人々との協働能力を身につけた教員を養成すること。“地域の中での教員養成”を基本方針としているのが特色です。その具体的な実践として「地域教育活動」「学校支援ボランティア活動」という科目を設け、教職課程履修者の必修とし、主体性、積極性、人間関係の構築、社会常識や意識を、在学中から段階的に高めることを目標としています。さらに教職センターでは、教員志望の学生のために「教職支援相談室」を開設して、学業、進路に限らず幅広い相談に応じています。

専任教員担当科目

小林 輝行 教授	地域社会と大学教育、教職論、教育基礎論、教育学概論、教育史、教育実習事前・事後指導、教職特講演習Ⅵ、介護等体験入門、教育実践特講、教職実践演習
石井 房枝 教授	心理学、教育心理学、発達心理学、教育心理学特講、発達心理学特講、教職特講演習Ⅶ、総合演習、教育実践特講、精神保健福祉論、教職実践演習
川島 一夫 教授	生徒指導概論、心理学、教育相談、発達心理学特講、教職特講演習Ⅶ、教職実践演習

佐久 信雄 教授 教職論、教育実習事前・事後指導、教職特講演習Ⅰ、教職特講演習Ⅵ、介護等体験入門、教育実践特講、教職実践演習

征矢野 達彦 教授 道徳の指導法、学校経営と学校図書館、教職特講演習Ⅶ

こんなサポートも実施 通常の教職課程の授業以外にもさまざまな取り組みを行っています。

教員として活躍する卒業生を招いて臨場感ある話を

松本大学では多くの卒業生が教員として活躍しています。こうした現役の教員を授業に招き、教員を目指した動機、採用試験の勉強方法、実際の仕事内容などをお話いただく取り組みを進めています。学生にとってはとても興味深く、役に立つ話ばかりで、教員志望へのモチベーションアップにつながります。



学生を前に話す下村茜さん。2011年3月に健康栄養学科を卒業し、現在は和田小・中学校で学校栄養職員として働いています。

教員としての学びを深める密度の濃い集中講座

教員としての学びを深めるための実践的な科目を開講しています。例えば、「教育実践特講」では“よい授業とは”をテーマに受講学生と教職センターの教員3名がディスカッションを実施。事前に中学校・高等学校の授業参観を行い、その結果を発表・討議することで、教育現場に即した学びを実践します。



正しい授業のあり方について、真剣な議論を展開。こうした経験を通して、教員としての自覚を養います。

先輩から後輩へ。ともに学び、ともに目標に向かいます

教育実習に参加した4年生が、教員を目指す3年生にその体験を伝えるのが「教育実習報告会」。教育実習での楽しかった出来事、辛い経験などのエピソードを交え、後輩へのアドバイスをを行います。教育実習は自分を成長させる場ですが、不安や心配も感じるもの。事前にその場の話を聞くことのできる体験は、3年生にとってはとても貴重です。



自分の教育実習の体験を熱心に伝える4年生たち

資格取得支援センター

優れた知識や技能を認められる資格の取得は、就職活動を行う上でも有効です。

松本大学は授業の一環として資格取得課程がカリキュラムに組み込まれているほか、資格取得支援センターで各種講座を開講。社会のニーズに応える幅広い分野の資格にチャレンジできます。

松本大学 以下の資格は、所定の科目を履修し単位を修得することで卒業と同時に得られる資格、もしくは受験資格が得られるもの。

総合経営学部 取得資格		対応する科目			
総合経営	高等学校教諭一種免許状(商業・情報)	教科に関する科目20単位、教職に関する科目23単位、教科または教職に関する科目16単位 他に日本国憲法等8単位			
	産業カウンセラー(受験資格)*	カウンセリング理論と技法 心理アセスメント	臨床心理学 カウンセリング演習・実習	パーソナリティ理論 他	
観光ホスピタリティ	社会福祉士(受験資格)	社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ 医学概論Ⅰ・Ⅱ	児童福祉 高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ	障がい福祉 社会保障論Ⅰ・Ⅱ	社会福祉調査 ソーシャルワークⅠ・Ⅱ 他
	社会福祉主事(任用資格)	社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ 児童福祉	高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ 障がい福祉	社会保障論Ⅰ・Ⅱ 社会学	等から3科目
	学 芸 員	博物館概論 博物館経営論 博物館資料論 他			
	高等学校教諭一種免許状(地歴・公民・福祉)	教科に関する科目20単位、教職に関する科目23単位、教科または教職に関する科目16単位 他に日本国憲法等8単位			
	中学校教諭一種免許状(社会)	教科に関する科目20単位、教職に関する科目31単位、教科または教職に関する科目8単位 他に日本国憲法等8単位			
	小学校教諭二種免許状	※明星大学通信教育部との教育業務提携により取得ができます。			
	自然体験活動リーダー(CONEリーダー)	自然体験活動論Ⅰ			
	公認ネイチャーゲーム指導員	ゼミナールⅡ・Ⅲ			
両学科共通	司 書 教 諭	読書と豊かな人間性 学習指導と学校図書館	学校経営と学校図書館 情報メディアの活用	学校図書館メディアの構成	
	図書館司書 ※他学部履修により取得可能	生涯学習概論	図書館サービス概論	情報サービス演習Ⅰ	
		図書館概論	情報サービス論	情報サービス演習Ⅱ	
		図書館情報技術論	児童サービス論	情報資源組織演習Ⅰ	
		図書館制度・経営論	図書館情報資源概論	情報資源組織演習Ⅱ	
		図書館基礎特論	情報資源組織論	図書館情報資源特論	
		図書・図書館史	図書館総合演習		
		図書館施設論			
	介護職員初任者研修 (ホームヘルパー) ※他学部履修により取得可能	職務の理解 介護における尊厳の保持・自立支援	介護の基本 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 他		

※(社)日本産業カウンセラー協会に個別に申請の上、認定される必要があります。

人間健康学部 取得資格		対応する科目	
健康栄養	管理栄養士(受験資格)	基礎栄養学 食事摂取基準論 栄養教育論Ⅰ・Ⅱ 他	
	栄 養 士	基礎栄養学 生化学 給食実務論 調理学 他	
	栄養教諭一種免許状	栄養に係る教育に関する科目4単位、教職に関する科目18単位	
	食品衛生管理者・食品衛生監視員	公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 食品微生物学(含実験) 食品衛生学 食品学総論 他	
	フードスペシャリスト(受験資格)	フードスペシャリスト論 食品流通論 フードコーディネート論 フードマネジメント論 他	
健康運動実践指導者(受験資格)	安全救急法(含実習) 他 ※管理栄養士と健康運動実践指導者の受験資格は同時に得ることができません。		
スポーツ健康	健康運動指導士(受験資格)	医学概論 スポーツと栄養 運動生理学 他	
	健康運動実践指導者(受験資格)	安全救急法(含実習) スポーツ心理学 健康づくりと運動 他	
	日本体育協会公認スポーツ指導者	現代スポーツ論 スポーツ心理学 運動学 他 ※養成講習会における共通科目の受講が免除されます。	
	トレーニング指導者(受験資格)	スポーツと栄養 運動生理学 スポーツ心理学 他	
	レクリエーション・コーディネーター(受験資格)	スポーツマネジメント論 レクリエーションサービス論 他	
	レクリエーション・インストラクター	レクリエーション論 レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱ 他	
	第一種衛生管理者	健康管理論 衛生・公衆衛生学概論 衛生管理学 法学(含日本国憲法) 労働安全衛生法 他	
	高等学校教諭一種免許状(保健体育・保健)	教科に関する科目20単位、教職に関する科目23単位、教科または教職に関する科目16単位、他に日本国憲法等8単位	
	中学校教諭一種免許状(保健体育・保健)	教科に関する科目20単位、教職に関する科目31単位、教科または教職に関する科目8単位、他に日本国憲法等8単位	
	小学校教諭二種免許状	※明星大学通信教育部との教育業務提携により取得ができます。	
養護教諭一種免許状	養護教諭と看護 看護学概論 養護概説 健康相談活動 学校の看護 他		
介護職員初任者研修 (ホームヘルパー)	職務の理解 介護における尊厳の保持・自立支援	介護の基本 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	他

松商短期大学部

取得資格		対応する科目		
両学科共通	図 書 館 司 書	生涯学習概論 図書館概論 図書館情報技術論 図書館制度・経営論 図書館基礎特論	図書館サービス概論 情報サービス論 児童サービス論 図書館情報資源概論 情報資源組織論 図書・図書館史 図書館施設論	情報サービス演習Ⅰ 情報サービス演習Ⅱ 情報資源組織演習Ⅰ 情報資源組織演習Ⅱ 図書館情報資源特論 図書館総合演習
	介護職員初任者研修 (ホームヘルパー)	介護概論 高齢者保健福祉の制度とサービス 障害者福祉の制度とサービス 医学の基礎知識Ⅰ	基本介護技術 (起居動作の介助法 他) 施設介護実習 他	

〈目標資格〉フィールドの学びを生かし合格を目指すもの。

日商簿記検定 全経簿記能力検定 日本語ワープロ検定 情報処理技能検定(表計算) 情報処理技能検定(データベース) 文書デザイン検定 Microsoft Office Specialist Microsoft Certified Application Specialist ホームページ作成検定 ITパスポート試験 情報処理技術者試験 ファイナンシャル・プランニング技能検定 証券外務員試験 日商販売士検定 ビジネス実務法務検定 保険請求事務技能検定(医科・歯科)	診療報酬請求事務能力検定 調剤報酬請求事務技能検定 アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定 AFT色彩能力検定 ファッションビジネス能力検定 ファッション販売能力検定 フォーマルウェア検定 ベビシッター 福祉住環境コーディネーター TOEIC 実用英語技能検定 小原流華道 初等科・本科 茶道表千家 入門・習事 秘書技能検定 日本漢字能力検定
---	---

国際交流

海外生活を通して体験する異文化交流。

それは新しい価値観やライフスタイルとの出会いであり、
大学時代にしかできない貴重な体験となります。

国際交流センター

海外への留学を希望する学生に対して、活発な交流プログラムを提供しています。

世界への交流が広がっています

国際交流センターでは、学内外における積極的な異文化との交流を通して相互に語学力を磨くだけでなく、海外生活体験による研究を松本の地域発展に活かせるような国際交流プログラムの作成や活発な活動を展開しています。

海外へ興味を抱く学生への支援、大学の中での留学生との交流サポート、各自治体や民間団体などからの依頼による外国人の受け入れや学生の派遣など交流活動への参加支援活動サポート。外国人旅行者の名所案内や通訳など、教職員や地域の人も交え活動は多岐にわたります。

オーストラリア国立ニューカッスル大学短期研修旅行など短期語学研修を実施

国際交流センターでは、海外への興味を抱く学生を強力に応援しています。なかでも歴史あるプログラムが「オーストラリア国立ニューカッスル大学短期研修旅行」。学校法人ソニー学園湘北短期大学（神奈川県厚木市）と一緒にオーストラリア国立ニューカッスル大学で夏休みを利用して語学研修を行っています。湘北短期大学の学生との交流も持ちながら、オーストラリアで異文化体験。また、本学独自でアメリカネネ州メリルカレッジでのプログラムも企画しています。英語レベルは12段階の中から自分に最も合ったレベルで勉強できます。アクティビティも充実しており自分たちで選んで体験することができます。両校とも本学との共通点が多く安心です。どちらも滞在はホームステイ・スタイルでより生活に密着しています。

松本大学と共通点の多いチェコ・パルドゥビツェ大学との連携

チェコ共和国は地理的にヨーロッパのほぼ中央に位置しています。パルドゥビツェ大学は、そのチェコ共和国の首都プラハから東へ車で2時間ほど行ったパルドゥビツェ市にある総合大学です。文化財修復学部があり、歴史ある国の文化財の維持、修復に貢献しています。将来学芸員を目指す学生が技術修得のため長期留学制度を利用しています。近年、地域連携経済を研究する学科を創設し、本学との共同で大学間提携を活用した交流が引き続き期待されています。

韓国、アメリカ、中国…世界へさらに広がる留学の機会

韓国の東新大学校や国立済州大学校とも提携し、活発な活動が続けられています。交換留学生も受け入れ、国際交流センターとしての留学サポートは当然ながら、各学科ごとに特色ある海外での体験型の留学を可能にし専門分野の学びへと結びつけ、効果を上げています。交換留学制度を利用し留学している学生もあり、今後オーストラリアやアメリカと同様に短期研修のプログラムや長期留学希望者にも対応していく予定です。また、短期語学留学や1年間の長期留学に対応しているアメリカ・ユタバレイ州立大学と協定を締結しています。さらに学術・人物交流協定を結んでいる中国人民大学などがあり、さまざまなプログラムを準備しています。



スピーチコンテスト

「オーストラリア国立ニューカッスル大学短期研修旅行」と並び、湘北短期大学と連携し毎年参加しているのが「英語スピーチコンテスト」。挑戦することで英語力が高まることはもちろんですが、自信を高め、プレゼンテーション能力も格段にアップする機会となっています。



異文化に触れたことで視野が広がり 一歩を踏み出す勇気が出ました

小松 咲恵さん 健康栄養学科3年 長野県松本蟻ヶ崎高等学校出身

2年次の夏休みに、2週間の「オーストラリア国立ニューカッスル大学短期研修旅行」に参加。湘北短期大学の学生と二人で、同じホストファミリーの家にお世話になりました。平日の午前中は大学で英語の授業を受け、午後は動物園やビーチに行き、楽しみ、休日はホストファミリーと過ごしました。食生活や余暇の過ごし方など日本と異なることが多く、驚きの連続でしたが、コミュニケーションに関しては心配していたほど困らず、身振り手振りを交えて楽しく会話できました。それまで消極的な性格だった私ですが、この留学を機に度胸がつき、何でも挑戦してみようと思えるようになったので、参加して本当によかったです。